

学校運営協議会報告会

- 1 日 時 平成21年2月14日(土) 午前10時～
- 2 場 所 京都市立修学院小学校 体育館
- 3 内 容 (1) 理事長あいさつ
(2) 学校長あいさつ



- ・本校の学校運営協議会のこれまでの経過報告及び今後の動き

- (3) 各委員会の委員さんへの委嘱状渡し

- (4) 歌と話 講師「高石ともや」氏

- ・地域の人が学校に関わっていくという姿は、京都は進んでいる。ここにいるみなさんは自信を持っていい。
- ・「待つ人がいると信じる」ことが生きる力になる。家庭が子どもにとって「待つ人がいる」場所であってほしい。
- ・明るい声であいさつすると相手も明るくなる。人を元気させるには自分から明るく元気に。地域みんなが子どもに声かけをする。明るい声であいさつを続けることが大切だ。大きく元気な声で周りが変わる。



- ・「よかったね」と言ってもらえると嬉しくなる。どんなにつまらない話でも最後に「よかったね」と言ってやる。そうすることで何でも話せるようになる。家でも「今から話をするから終わったら“よかったね”と言ってねと約束したり、役割を決めたりしておくといい。

- ・名前を呼ぶときは、フルネームで。それはその人の存在を認めることになる。

- ・修学院の校歌はいい。(バイオリンで演奏)校歌をきちんとした姿勢で正しく歌えることが大切だ。校歌を正しく歌うことは、この学校の1人であるという思いをもたせることになる。
- ・負けた人が勝った人に拍手する。(じゃんけんゲーム)心がなくても拍手する。そのうちに気にならなくなる。相手をたたえることが大切だ。
- ・親が子どもに負けることが大切だ。頭から押さえつけるのではなく、子どもの心に寄り添っていくことが必要だ。

- 4 参加人数 約200人

5 修学院小学校学校運営協議会組織図

平成20年度

修学院小学校 学校運営協議会

